

石見幼稚園 地域だより

令和3年2月22日号

浜田市立石見幼稚園

「鬼は外～！福は内～！」幼稚園の豆まきをしました。（2月2日）

今年は124年ぶりに2月2日が節分でした。幼稚園の豆まきもこの日に行いました。今年度は安全対策として、全園児で丸めた新聞紙を豆に見立てて、豆まきをしました。本物の豆は撒きませんでした。しっかり鬼退治をしてみんなが幸せな春を呼び込めるように頑張っていました。

自分の心の中の弱いところも退治しようということで、自分自身の直したいところを学級で発表し合う時間もありました。

豆まきには自作の鬼面を被り、頑張って折った色画用紙の三方を持って集まりました。「豆まき」の歌を歌ったり、年長年中それぞれの鬼面を披露し合ったり、「なぜ節分に豆をまくの？」の紙芝居を読んでもらい、豆まきをする意欲はどんどん高まったようです。今年は職員が扮する鬼が現れても泣き出す人は1人もいませんでした。新型コロナウイルスも豆まきで退散してくれるといいですね！



年中児は牛乳パックを使って鬼面を作りました！



年長児は紙皿を使った鬼面です！



「青鬼さん追いかけないで！」



豆まきの最後には福の神のご登場！！

「お店屋さんごっこ」子ども達のパワーにびっくり！（2月10日）

2月の参観日は保護者を招待し、子ども達が考えた「お店屋さんごっこ」を行いました。

当日の朝、法被や自分たちで作った店員さんの衣装を身につけ、開店準備に取り掛かる子ども達は生き生きとした表情でした。

この活動では、がんばって準備したことが人に喜んでもらえるという嬉しさを感じ、満足感や自己有用感を得ることとなり自尊感情を高めることに繋がっているように思います。保護者が子ども達の頑張ってきたことをしっかりと受けとめ、お客さん役に徹して「お店屋さんごっこ」に参加してもらえることで子ども達にとっての豊かな経験となっています。

お店屋さんごっこをしようと取り組み始めて5日間。その間、楽しい事ばかりではありません。何をやるのかなかなか決められなかったり、いざ準備し始めても仲間との活動に向かう思いに温度差が出てきたり、準備がはかどらず焦ったり。それでも諦めずに取り組めたのはお客さんの笑顔が見たいから！参観日までには互いのお店へ出かけてお客さん役も楽しみました。



年長児からお家の方へ開店のお知らせ！



「どれがいいですか？」

～保護者からの感想より～

- 子供のお店と侮るなかれの出来映えで驚きました。体験型のお店では大人でもとても楽しめ、思わず本気になってやりました。お店の呼び込みも廊下まで出て、積極的だったし、おすすめを教えてくれたり、“ありがとうございました”の一言もあって、本当にお客さんの気分を味わえました。
- お店屋さんの準備段階から何にしようか…、どういうふうに作ろうか…、店の名前はなににしようか…と毎日のようにいろいろ考え楽しみにしていたようでした。当日は張り切り目を輝かせて積極的に振る舞う我が子の姿を見て成長を感じた参観でした。どのお店も子どもならではの自由な発想とおもいやりに満ちていて素晴らしかったです。

給食試食会（2月12日）

年長児が学校給食センターの学校栄養士さんからお話をしてもらいました。クイズを出してもらいました。「給食に毎日出る物は何でしょう？」



一日入園（2月17日）

次年度の入園児さんに幼稚園の生活について年中児が紹介しました！



「制服はこうやって脱ぐと裏返しにならないよ！」

茶道の会（2月19日）

年長児が茶道のお稽古をしました。抹茶の味にも少しずつ慣れてきました。お辞儀も丁寧にできるようになりました。中には「お茶の先生になりたいな～！」という人も！！

